

# モンゴル語動詞接辞 -mar/-mer の動詞修飾用法

## Verb-Modifying Function of the Mongolian Verb Suffix *-mar/-mer*

包 格 根  
BAO Gegen

This paper examines the verb-modifying function of the Mongolian verb suffix *-mar/-mer* and finds first that the syntactic property of its modification of the verb is closer to that of converbs than adverbs. Four types of verbs can be modified by a verb with the suffix *-mar/-mer*: auxiliary verbs, thought verbs, manner verbs, and others including quotation and speech-act verbs. Whether one can insert the postposition *sig* ‘like’ between a verb with the suffix *-mar/-mer* and the following verb is determined by the actor and evidentiality. Whether a verb with the suffix *-mar/-mer* can take a voice or aspect suffix depends on the type of verb, as follows: The verb suffix *-mar/-mer* means hope or desirability when used with a first-person subject and spontaneity, possibility, situational description, hyperbole, or metaphor regardless of the subject.

キーワード：モンゴル語, 副動詞, 動詞修飾

Keywords: Mongolian, Converb, Adverbial modification

### 1. はじめに

モンゴル語<sup>1</sup>の副動詞接辞の用法・意味についての先行研究は数多くある。しかし、モンゴル語の動詞接辞-mar/-mer<sup>2</sup>が付加した形式が、副動詞のように動詞類<sup>3</sup>を修飾する点について言及した先行研究は少ない。

---

<sup>1</sup> 本論文が対象とするモンゴル語は、内蒙古中部方言に属するハラチン方言(筆者の出身地:通遼市・庫倫旗)である。モンゴル語例文は塩谷・中嶋(2017)の表記に従い、「書写蒙古語」のローマ字を用いて横書きに表記したものである。7つの母音を a, e, i, o, u, ö, ü で、26個の子音を n, b, p, q/k, γ/g, m, l, s, š, t, d, k, č, j, y, r, w, f, c, z, ž, h, lh, ž, č, ng で表記する。モンゴル語には母音調和がある。a, o, u は男性母音、e, ö, ü は女性母音、i は中性母音である。子音にも、母音の種類に従って使い分けるものがある。q, γ は男性語に、k, g は女性語に現れる。母音調和は格助詞にも適用される。

<sup>2</sup> 動詞接辞-mar/-mer は、男性語には異形態-mar、女性語には異形態-mer で現れる。例文中のグロス表記は-mar または-mer とする。

<sup>3</sup> 本論文の動詞類とは形動詞、副動詞、文末述語(命令・願望類と叙述類動詞を含む)の総称である。

- (1) doyuilang=un tölüge isige=ben nige=dü nige=ber jisüle-jü,  
 組=GEN POST 子羊=REFL 一つ=DAT 一つ=INS 数える-CVB.PARA  
 emkü-ged abu-mar kögerüküile-gseger bömbügen ger=tü=ben  
 噛む-CVB.DISC 取る-mar 可愛がる-CVB.DUR 丸い 家=DAT=REFL  
 oru-γul-u-n\_a.  
 入る-CAUS-E-NPST

「組のために小羊を一頭一頭で数えて、口の中にでも入れるような可愛がりようで部屋に入れる」

图门吉日嘎拉(2009: 293)

- (2) sürekei dogsin tüimer=ün yeke γal qoin\_a=ača salkila=γsan sirügün  
 とても 猛烈な 火事=GEN 大きい 火 北=ABL 吹く=VN.COMP 激烈な  
 salkin=no küčün=i daga-ju tegri γajar=i küde-lge-mer törčigine-n\_e.  
 風=GEN 力=ACC 従う-CVB.PARA 天 地=ACC 動く-CAUS-mer 響く-NPST  
 「強烈な火が北の風で地面を動かさんばかりに響いている」

那森伯編(1995: 380)

例(1)中の副動詞 emküged「噛んで」は abu-mar「取りそう」を修飾し、emküged abu-mar「口に入れそう」になり、さらに副動詞 kögerüküilegseger「可愛がり続けて」を修飾し、emküged abu-mar kögerüküilegseger「口の中にでも入れるような可愛がりよう/なめるほど溺愛して」になっている。

例(2)中の名詞 tegri「天」γajar「地」と küdelge-mer「動かしそう」の間に対格助詞 i で繋がって、teгри γajar i küdelge-mer「天地を動かしそう」になり、動詞 törčiginen\_e「響いている」を修飾し、teгри γajar i küdelge-mer törčiginen\_e「天地を動かさんばかりに響いている」になっている。

上記の例<sup>4</sup>が示すように、動詞接辞-mar/-mer が付加した形式は、副動詞のように動詞を修飾したり、文中の他の副動詞を修飾したり、あるいは文末述語を修飾することができる。

本論文は、動詞接辞-mar/-mer の副動詞的な動詞修飾用法について考察する。第2節では先行研究について検討する。第3節では動詞接辞-mar/-mer の動詞修飾用法に関して副詞・副動詞との比較対照を行い、動詞接辞-mar/-mer が動詞修飾する際の動詞の種類を分類する。

<sup>4</sup> 那森伯編(1995: 327) や图门吉日嘎拉(2009: 289) では動詞接辞-mar/-mer を形動詞接辞に分類し、動詞接辞-mar/-mer が名詞類を修飾する例を示している。上で引用した那森伯編(1995: 293) と图门吉日嘎拉(2009: 380) からの例文は、動詞接辞-mar/-mer 以外を説明する箇所からのものである。

第4節では、動詞接辞-mar/-mer が動詞修飾する際の意味について検討する。第5節では、本論文のまとめを行う。

## 2. 先行研究と問題の所在

動詞接辞-mar/-mer の動詞修飾用法について、風間 (2003)、山越 (2012)、ジンガン (2010) などに言及がある。

風間 (2003: 327) は、モンゴル語の形・定・副動詞の形式の1つとして-mar/-mer および-san/-sen (付帯状況を示す副動詞的用法を持つ) を挙げるが特に説明を示していない。

ジンガン (2010: 115) は、「-mar/-mer は名詞を修飾し、形動詞的に機能する場合もあれば、動詞を修飾し、副動詞的に機能する場合、そして-mar/-mer 動詞のみで文が終了する場合もある。それに加えて、終助詞を後続させる場合もある」と述べている。ただしジンガン (2010) は動詞接辞-mar/-mer のモーダルな意味についての考察が中心でありその用法についてさらなる考察を行っていない。また動詞修飾の例文<sup>5</sup>は、補助動詞 bai-「いる/ある」および bol-「なる」を除く動詞は sanayda-「思われる」1例しか見られない。

山越 (2012: 119) は動詞接辞-mar/-mer を連用形に分類し、願望「～したく…」を表すと述べている。さらに山越 (2012: 133) では、「もっぱら bain\_a を後続させた-mar bain\_a という形で「～したい」と言う意味をあらわします。この-mar/-mer は、一般的には形動詞 (本書でいう連体形) 接尾辞に分類されます」との説明を加えている。

小沢 (1986: 92) には「服部四郎教授の記述によれば、副動詞的に用いられることもあるということ」との記述がある。しかし、動詞接辞-mar/-mer の動詞修飾についてこれ以上の言及はない。

清格尔泰 (1991: 267-268) は、「形動詞は動詞を修飾する際 (格助詞で修飾) は副動詞と同じくなる場合があるため、形動詞と副動詞を区別しにくいことが生じる」と述べている。しかし、ここで列挙している例は形動詞接辞-qu/-kü を含む例のみである。

筆者は、内モンゴル大学で作成された「100万語現代モンゴル語コーパス」から動詞接辞-mar/-mer の実例を計430検出し、機能、頻度によって分類した。その結果、名詞修飾が189例、動詞修飾が187例、終止形 (終助詞が後続する例を含む) が42例、形容詞修飾が12例得られた (表1)。

<sup>5</sup> ジンガン (2010: 115) は、「動詞接辞-mar/-mer の実例本コーパス (ジンガンの作ったコーパス) から計1204例検出された」と述べ、動詞接辞-mar/-mer の出現数が名詞修飾186例、動詞修飾746例、終止形272例であると述べている。ジンガン (2010) のコーパスでは動詞接辞-mar/-mer の動詞修飾の割合が多かったことが分かる。

表 1 動詞接辞-mar/-mer の機能と頻度 (100 万語現代モンゴル語コーパス)

機能	名詞修飾	動詞修飾	終止形	形容詞修飾
頻度	189 例	187 例	42 例	12 例

以上のように、動詞接辞-mar/-mer の動詞修飾用法について、先行研究にも言及がある。しかしながら、これらでは動詞修飾用法の存在の指摘と若干の例文の提示に留まっており、管限の限りではさらなる研究は見当たらない。動詞接辞-mar/-mer が動詞修飾をする際の、副詞や副動詞による動詞修飾との違いや、意味的特徴などについて考察が必要である。

### 3. 動詞接辞-mar/-mer の動詞修飾用法の文法的特徴と意味的特徴

本節では、動詞接辞-mar/-mer の動詞修飾用法について検討する。まず、副詞・副動詞の動詞修飾用法との比較を行い、それらとの違いについて述べる。次に、動詞接辞-mar/-mer が動詞修飾をする際に介入要素（後置詞）の挿入があるか、加えてヴォイス・アスペクトとの関係について考察し、動詞接辞-mar/-mer の動詞修飾用法をまとめる。

#### 3.1. 副詞・副動詞との比較

モンゴル語の極少数の副詞が名詞のように格助詞を伴うことができることについては、小沢 (1986)<sup>6</sup>、那森伯編 (1995)<sup>7</sup>による指摘がある。形容詞が副詞としても機能することについては、小沢 (1997)、清格尔泰 (1991)<sup>8</sup>、岡田・向井 (2006)<sup>9</sup>による指摘がある。多くの先行研究では、副詞が動詞類を修飾する点で見解が一致している。副詞が形容詞を修飾することに関しては、清格尔泰 (1991)、岡田・向井 (2006) による指摘がある。岡田・

<sup>6</sup> 小沢 (1986: 134-135) は、「①場所を示す副詞：-da/-de で終わる ende 「ここ」など；-r\_a/-r\_e で終わる deger\_e 「～の上に」など；-n\_a/-n\_e で終わる nayan\_a 「こっちに」など；-si で終わる čayasi 「向こうへ」など；uruγu が付く qamiγ\_a uruγu 「どっちの方へ」など；場所を示す副詞は、奪格として現れ得る。tende eče 「そこから」など。②時を表す副詞 önüdü 「今日」、kedüi dü 「何時」など。③その他に masi 「非常に」、tüil ün 「極端に、非常に」等が副詞として挙げられよう。最後の二つは、属格副詞である」と述べている。

<sup>7</sup> 那森伯編 (1995: 378-385) では、副詞を ensi 「こっち」、drgete 「隣」のような場所・方向副詞、nigente 「既に」、darui 「すぐ」のような時間副詞、yab čab 「丁度、ピッタリ」、dulas dulas 「きらきら」のような様態副詞、qur qur 「ツルツル」、sibar sibar 「パラパラ」のような音声副詞、yekete 「おおまかに」、sain dayan 「良くて」のような程度副詞の 5 つに分類している。那森伯編 (1995) の様態副詞には、清格尔泰 (1991) の状態副詞と造形副詞が含まれている。

<sup>8</sup> 清格尔泰 (1991: 416-425) は、「程度副詞は、tong 「とても」、neng 「さらに」、qaratai 「とても」など。時態副詞は、ürgülji 「よく」、bain bain 「たまに」、dakin dakin 「何回も」、sayi 「さっき」など。状態副詞は、arai čarai 「せっかく」、qaltu mültü 「おっちょこちよい」、tönggen tanyγan 「やっと」など。造形副詞は、tasu 「切る」、čömu 「崩れる」、balba 「ぼろぼろにする」、niča 「破る」など。

<sup>9</sup> 岡田・向井 (2006) 〈形容詞と副詞〉は、動詞修飾の副詞に danyda 「いつも」、möd 「すぐに」を、形容詞または他の副詞を修飾する副詞に masi 「とても」、denγduu 「あまりにも」の例を出している。

向井 (2006) はさらに、副詞が修飾語の成分として他の副詞を修飾するとも述べている。

副動詞による動詞修飾について、小沢 (1986, 1997)、清格尔泰 (1991)、那森伯編 (1995)、图门吉日嘎拉 (2009)<sup>10</sup>、ジンガン (2010) などによる指摘がある。栗林 (1992) も副動詞が形容詞や副詞を修飾すると述べているが、具体例は示されていない。

小沢 (1986: 82) は、「副動詞とは、一言でいえば、副詞的な職能を持った動詞の一変形である。日本文法で言えば、動詞の連用形に当たるものである。副動詞形は、文を終止することはできないが、文を中止することは出来、また、他の動詞を修飾することもできる」と述べている。

以上の記述を踏まえて本節では、副詞、副動詞、動詞接辞-mar/-mer が、動詞類、形容詞、副詞を修飾できるか否かについて検討する。

① 副詞は、形容詞、動詞類、副詞を修飾する。

- (3)    neng        yeke  
         さらに    大きい  
         「さらに大きい」

- (4)    neng        yekede-kü  
         さらに    拡大する-VN.FOR  
         「さらに拡大する」

- (5)    neng        yekede-ju...  
         さらに    拡大する-CVB.PARA  
         「さらに拡大し...」

- (6)    jarim dayan    daqin daqin    ki-deg.  
         時に            何回も        やる-VN.HAB  
         「時に何回もする」

例(3)の副詞 neng 「さらに」は形容詞の yeke 「大きい」を修飾している。例(4)(5)の副詞 neng 「さらに」は、それぞれ形動詞の yekedekü 「拡大する」と副動詞の yekedeju 「拡大し

<sup>10</sup> 图门吉日嘎拉 (2009: 305-308) の副詞分類では、eürite 「永遠に」、tür çay 「短い間」のような時間副詞、ulam 「さらに」、baqan 「少し」のような程度副詞、quyu 「断ち切る」、kemke 「打ち砕く」、sendü mendü 「慌てて」、qasi yasi 「大まかに」のような状態副詞の3つに分けている。图门吉日嘎拉 (2009) は、清格尔泰 (1991) の状態副詞と造形副詞の両方をまとめて状態副詞と呼んでいる。

て」を修飾している。例(6)の副詞の *jarim dayan* 「時に」は別の副詞 *daqin daqin* 「何回も」を修飾し、さらに *jarim dayan daqin daqin* 「時に何回も」が二重副詞として形動詞の *kideg* 「する」を修飾している。ただし副詞が他の副詞を修飾する例は少ない。

② 副動詞は、形容詞、動詞類を修飾する。

- (7)     *alqu-γad*                    *yabu-bal*                    *γoyu.*  
           歩く-CVB.DISC        行く-CVB.COND        素敵だ  
           「歩いて行ったら素敵だ」

- (8)     *alqu-γad*                    *yabu-baču*                *jabdu-n\_a.*  
           歩く-CVB.DISC        行く-CVB.CONC        間に合う-NPST  
           「歩いて行っても間に合う」

- (9) \*    *yabu-γsayar*                *masi/darui/ayandayan/balba.*  
           行く-CVB.DUR        非常に/すぐに/自然に/ぼろぼろに  
           (行き続けて非常に/すぐに/自然に/ぼろぼろに)

例(7)の副動詞 *alquγad yabubal* 「歩いて行ったら」は、形容詞 *γoyu* 「素敵」を修飾している。ただし副動詞が形容詞修飾する例は、動詞類を修飾する例より少ない。例(8)の副動詞 *alquγad yabubaču* 「歩いて行っても」は、文末述語 *jabdun\_a* 「間に合う」を修飾している。例(9)の副動詞 *yabu-γsayar* 「行き続けて」は、後に副詞だけが現れる場合に成立できない。つまり副詞を修飾できない。

上述の例からも分かるように副動詞は形容詞を修飾することができるが、全ての副動詞が形容詞修飾をするわけではない。条件接辞 *-bal/-bel* と譲歩接辞 *-baču/-bečü* が現れる時には成立する。時に分離接辞 *-γad/-ged* が用いられる際にも成立する。修飾される形容詞は、*saiqan* 「良い」、*γoyu* 「素敵だ」、*qurdun* 「早い」、*udayan* 「遅い」などの評価を表すものに限られている。

③ 動詞接辞 *-mar/-mer* は、形容詞、動詞類を修飾する。

- (10)    *γaiqa-mar*     *yeke*  
           驚く-mar     大きい  
           「驚くほど大きい」

(11) kömün bairi-jü                      ide-mer      ayasila-qu  
 人      つかむ-CVB.PARA   食べる-mer   振る舞う CVB.FOR  
 「人をつかんで食べそうに振る舞う」

(12) \* kömün bairi-jü                      ide-mer      masi/darui/ayandayan/balba  
 人      つかむ-CVB.PARA   食べる-mer   非常に/すぐに/自然に/ぼろぼろに  
 (人をつかんで食べそうに非常に/すぐに/自然に/ぼろぼろに)

例(10)の動詞接辞 *γaiqa-mar* 「驚くほど」は、形容詞 *yeke* 「大きい」を修飾している。しかし、全ての動詞接辞 *-mar/-mer* が形容詞を修飾できるわけではない。例えば、\**ide-mer yeke* 「食べそうに大きい」とは言えない。例(11)では、*kömün bairijü ide-mer* 「人をつかんで食べそうに」は形動詞 *ayasilaqu* 「振る舞う」を修飾している。例(12)の *kömün bairijü ide-mer* (人をつかんで食べそうに) は、後の副詞を修飾することができない。

上述の考察結果をまとめると表 2 の通りである。

表 2 モンゴル語の動詞接辞 *-mar/-mer* と副詞・副動詞との違い

	形容詞を修飾	動詞類を修飾	副詞を修飾
副詞	○	○	△
副動詞	△	○	×
動詞接辞 <i>-mar/-mer</i>	△	○	×

● ○は成立、△は条件により成立できる、×は成立できない。

表 2 から分かるように、動詞接辞 *-mar/-mer* による修飾は、副詞よりも副動詞に近い特徴を示す。ただし副動詞には節を繋ぐ用法があるのに対し、動詞接辞 *-mar/-mer* は補助動詞が後続する際にのみ節を繋ぐことができる<sup>11</sup>。

### 3.2. 動詞接辞 *-mar/-mer* が修飾する動詞の分類

第 2 節では、筆者が 100 万語現代モンゴル語コーパスにおいて動詞接辞 *-mar/-mer* が動詞修飾する例を 187 例収集したことを述べた。ジンガン (2010) に挙げられた例は補助動詞 *bai-* 「いる/ある」、*bol-* 「なる」および *sanayda-* 「思われる」であるが、筆者のデータにはそれ以外の動詞も多く含まれている。具体的に、100 万語現代モンゴル語コーパスの中で動

<sup>11</sup> 次のような対句表現では、動詞接辞 *-mar/-mer* が節を繋ぐ用法で現れるように見える (モンゴル語の詩や慣用句などによくある表現の一つ) : *usu ge jü endegüre-mer, utuy\_a ge jü tasiya-mar*. 「水かと思違いそう、煙かと思誤りそう」。

詞接辞-mar/-mer が修飾する動詞の出現頻度は表 3 の通りである。

表 3 動詞接辞-mar/-mer が修飾する動詞の頻度（上位 7 位まで）

順位	頻度	被修飾動詞（日本語訳）	順位	頻度	被修飾動詞（日本語訳）
1	47 例	sana-（思う）	6	6 例	ayasila-（振る舞う）
2	30 例	bai-（いる/ある）	7	2 例	güyü-（走る）
3	29 例	bol-（なる）	7	2 例	tüg ji-（塞がる）
4	9 例	bodoy-（思われる）	7	2 例	čoqila-（しきりに脈打つ）
5	6 例	qara-（見る）	7	2 例	ge-（と言う）

- sana-（思う）の 47 例中の 46 例は受動形 sanayda-の例で、1 例のみが sana-（思う）の例である。  
qara-（見る）の 6 例中の 4 例は受動形 qarayda-の例で、2 例のみが qara-（見る）の例である。

本論文では、bai-「いる/ある」、bol-「なる」のような、独自の語彙的意味を持っているが他の動詞の後続する際に本来の意味を失い、直前の動詞の意味を補う働きをする動詞を補助動詞と呼ぶ。また sanayda-「思われる」、bodoyda-「思われる」、üjegde-「見られる、思われる」のような、人間の考えや思考内容などの内的状態を表す動詞を思考動詞と呼ぶ。さらに ayasila-「振る舞う」、güyü-「走る」、tüg ji-「塞がる」、čoqila-「しきりに脈打つ」のような動作の仕方・あり方、振る舞いの様子、仕草などを表す動詞を様態動詞と呼ぶ。最後に引用動詞 ge-「と言う」と発話動詞 kele-/yari-「言う」をその他の動詞とする。動詞接辞-mar/ -mer に後続する被修飾動詞をこの四つに分け、出現頻度についてまとめると以下の表 4 の通りである。

表 4 動詞接辞-mar/mer に後続する被修飾動詞の種類と頻度

種類	補助動詞	思考動詞	様態動詞	その他の動詞
頻度	59 例	63 例	61 例	4 例

### 3.3. 動詞接辞-mar/-mer が動詞類を修飾する際の文法的特徴

本節では、動詞接辞-mar/-mer が動詞修飾をする際に、後置詞の挿入が可能かどうかと、アスペクト・ヴォイス形式との共起関係について検討する。



## 3.3.1. 後置詞

動詞接辞-mar/-mer が動詞類を修飾する際に、後置詞 *siy/sig*<sup>12</sup> 「～ように」が挿入できる場合がある。以下では後置詞 *siy/sig* 「～ように」の挿入可否を、被修飾動詞の分類ごとにより検討する。

動詞接辞-mar/-mer が補助動詞を修飾する際に、動詞接辞-mar/-mer *bai-*では状態を表し、動詞接辞-mar/-mer *bol-*では結果状態を表す。動詞接辞-mar/-mer が補助動詞を修飾する際、状態をそのまま述べる場合(13a)、話し手自身の感情をそのまま述べる場合(14a)、いずれも後置詞 *siy/sig* を挿入できない。一方で状態について叙述する場合(13b)、話し手が外観から判断してその様子であるについて述べる場合(14)には、後置詞 *siy/sig* を挿入できる。

(13)\*a. *una-mar siy bai-n\_a.*  
 落ちる-mar POST ある-NPST  
 (落ちそうなようにある)

b. *una-mar siy bai-bal tul-ju talbi.*  
 落ちる-mar POST ある-CVB.COND 支える-CVB.PARA 置いて  
 「落ちそうなようであれば、支えて置いて」

(14)\*a. *bi ene kömün=nu tuqai yari-mayča uqila-mar siy bol-day.*  
 1 この 人=GEN 関して 言う-CVB.IMM 泣く-mar POST なる-VN.HAB  
 (私はこの人のことを言ったらすぐ泣きそうなようになる)

<sup>12</sup> 多くの先行研究では、後置詞は格助詞のように名詞類の後に付き、さまざまな文法的な意味を表すと述べている。後置詞 *siy/sig* が動詞に後続する点について述べた研究には、小沢 (1997) と图门吉日嘎拉 (2009) がある。小沢 (1997: 200-201) は、「*siy/sig* 「～ように；～ような」 *metü* と同様に用いられるが、古い文献には見られない。元朝秘史に見られる *sitü* 「～のように」は *siy/sig* の *si* と *metü* の *tü* が合体したものか。*siy/sig yum/yüm* で述語として用いられ、*siy/sig* は「～のように」の意で副詞的に、*siy/sig* は「～のような」として、即ち形容詞的に用いられたものである」と述べている。图门吉日嘎拉 (2009: 311) は、「*siy/sig* は名詞、形容名詞、代名詞、時間・方向を表す名詞、数名詞、形動詞の後に直接付くか、*yum siy/yüm sig* 形で比較の意味を表す」と述べている。本論文は小沢 (1997)、图门吉日嘎拉 (2009) に従い、後置詞 *siy/sig* は名詞類にも動詞類にも後続し、また述語としても用いられさまざまな文法的な意味を表すものとする。具体的には、① N + 後置詞 *siy/sig* は、「～ような、～ように」の意味を表す。例えば、*abu siy kömün* 「お父さんのような人」、*qarbuysan somu siy qurdun* 「発射した矢のように速い」、*sain kömün sig yüm da* 「いい人のようだ」など。② V + 後置詞 *siy/sig* は、「～通り、～ように」を表す。例えば、*kelegsen sig kibel* 「言った通りにすれば」、*kelegsen sig sanaydaju* 「言ったように思われて」など。本論文は *siy/sig* が動詞接辞-mar/-mer に後続し「～ように」の意味を表す場合について取り上げる。

b. tere ene kōmūn=nu tuqai yari-mayča uqila-mar siy bol-day.

3 この 人=GEN 関して 言う-CVB.IMM 泣く-mar POST なる-VN.HAB  
「彼がこの人のことを言ったらすぐ泣きそうのようになる」

動詞接辞-mar/-mer が思考動詞を修飾する際に、動詞接辞-mar/-mer と被修飾動詞の動作主が同じで動作主の内的状態をそのまま述べる場合(15a)には後置詞 siy/sig 「～ように」を挿入できないが、動作主の内的状態について叙述する場合(15b)には後置詞 siy/sig 「～ように」を挿入できる。動詞接辞-mar/-mer と被修飾動詞の動作主が同じではない場合(15c)にも、後置詞の siy/sig 「～ように」を挿入できる。

(15)\*a. ... dayula-mar siy bodu-γda-l\_a.

歌う-mar POST 思う-PASS-PST

(...歌いそうなように思われた)

b. bi birin oči-ju üje-mer sig sana-γda-γsan

1 すぐに 行く-CVB.PARA 見る-mer POST 思う-PASS-VN.COMP

bol-bayču...

なる-CVB.CONC

「私はすぐ行ってみたいように思われたが...」

c. ... asar=i urusqa-mar siy sana-γda-γul-u-n\_a.

ビル=ACC 流す-mar POST 思う-PASS-CAUS-E-NPST

「...ビルを流しそうなように思われる」

動詞接辞-mar/-mer が様態動詞を修飾する際に、動詞接辞-mar/-mer と被修飾動詞の動作主が同じで話し手が外観から判断してその様子を述べる場合(16a)と、動作主の内的状態について叙述する場合(16b)には後置詞 siy/sig 「～ように」を挿入できる。動詞接辞-mar/-mer と被修飾動詞の動作主が同じではない場合(16c)には、後置詞 siy/sig 「～ように」を挿入できない。

(16) a. biri-ju ide-mer sig ayasila-ju bain\_a.

掴み-CVB.PARA 食べる-mer POST 振る舞う CVB.PARA いる-NPST

「食べそうなように意地を張っている (媚びる様子)」

b. jiruke=ni ama=bar=ni yaru-mar siy čoqila-qu=du  
 心臓=3POSS 口=REFL=3POSS 出る-mar POST 脈打つ-VN.FOR=DAT  
 「心臓が口から出そうなほどにしきりに脈打って」

\* c. jiruke=ni ama=bar=ni yaru-mar siy obolja-n\_a.  
 心臓=3POSS 口=REFL=3POSS 出る-mar POST 動き回る-NPST  
 (心臓が口から出そうなほどに動き回る)

動詞接辞-mar/-mer がその他の動詞を修飾する際には、被修飾動詞が引用動詞か発話動詞かにより、違いが見られる。動詞接辞-mar/-mer が引用動詞を修飾する場合、動作主の状態をそのまま述べる場合(17a)には後置詞 siy/sig 「～ように」を挿入できないが、引用内容について叙述する場合(17b)には、後置詞 siy/sig 「～ように」を挿入できる。動詞接辞-mar/-mer が発話動詞を修飾する場合、動作主の考えをそのまま述べる場合(18a)には後置詞 siy/sig 「～ように」を挿入できないが、発話内容について叙述する場合(18b)には文脈によって挿入が可能になり、発話していた様子について述べる場合(18c)には後置詞 siy/sig 「～ように」を挿入できる。

(17)\*a. bi ide-mer siy ge-ǰü bodu-ǰü sayu-ba.  
 1 食べる-mar POST と言う-CVB.PARA 思う-CVB.PARA 座る-PST  
 (私が食べそうなようだと思っていた)

b. bi bodu-bal bol-u-mar siy ge-ǰü bodu-ǰü  
 1 思う-CVB.COND なる-E-mar POST と言う-CVB.PARA 思う-CVB.PARA  
 sayu-ba.  
 座る-PST  
 「私が考えたら良さそうなようだと思っていた」

(18)\*a. bi suray mede-mer sig kele-n\_e.  
 1 情報 分かる-mar POST 言う-NPST  
 (私が情報を知りそうのように言う)

??b. bi suray mede-mer sig kele-ǰü čida-qu ügei.  
 1 情報 分かる-mar POST 言う-CVB.PARA 出来る-VN.FOR NEG  
 「私が情報を知りそうのように言うことができない」

- c. suray mede-mer sig kele-ju bai-γsan ...  
 情報 分かる-mer POST 言う-CVB.PARA いる-VN.COMP  
 「情報を知りそうなように言っていた...」

つまり動詞接辞-mar/-mer が動詞類を修飾する際には、被修飾動詞の種類により後置詞 siy/sig 「～ように」を挿入できるかどうかの違いが見られる。動詞接辞-mar/-mer が動詞類を修飾する際に後置詞 siy/sig 「～ように」を挿入して文が成立できるか否かは、動作主や証拠性（外観からの判断、内的状態など）にも関係する。

### 3.3.2. ヴォイス接辞・アスペクト接辞との共起関係

本節では、動詞接辞-mar/-mer が動詞類を修飾する際のヴォイス接辞およびアスペクト接辞<sup>13</sup>との共起関係について検討する。

動詞接辞-mar/-mer が動詞類を修飾する際、動詞接辞-mar/-mer が使役接辞と共起できる(19a)が、相互(19b)<sup>14</sup>、受動(19c)<sup>15</sup>、(19d)以外受動と共起するのは少ない(19e)。

- (19) a. nada<sup>16</sup>=gi yabu-γul-u-mar bai-n\_a.  
 1=DAT 行く-CAUS-E-mar ある-NPST  
 「私を行かせるそうだ」

清格尔泰 (1991: 298)

- b. jodu-ldu-mar bain\_a / aγasila-ju bain\_a.  
 喧嘩-REC-mar いる-NPST / 振る舞う CVB.PARA いる-NPST  
 「喧嘩しそうだ/喧嘩しように意地を張っている」

<sup>13</sup> モンゴル語の動詞形態素は「動詞語幹－ヴォイス接辞－アスペクト接辞－動詞接辞」の順で配列される。ヴォイス接辞には使役-γul/-göl,-ly\_a/-lge/-γ\_a/-ge、受動-γda/-gde/-da/-de/-ta/-te、共同-lča/-lče、相互-ldu/-ldü、衆動-čay\_a/-čege/-jay\_a/-jegeがあり、アスペクト接辞には完了-čiq\_a/-čike/-či、瞬時-sqi/-skiがある。

<sup>14</sup> 被修飾動詞が様態動詞でさらに補助動詞 bai-を修飾する場合には成立するが、相互ヴォイス接辞と共起する動詞接辞-mar/-mer の例は少ない。

<sup>15</sup> 動作・事態の発生する寸前の状態を表す(19c)は、例えば子供が道路の真ん中を歩いていて、誰かが引っ張っていなかったら車に轢かれるところだったという文脈の場合には成立できる。

<sup>16</sup> 1人称単数代名詞が、主格、属格以外の格助詞を取る際には nada になる。

??c. tergen=dü dayari-γda-mar bai-ǰai.  
 車=DAT ぶつかる-PASS-mar いる-PST  
 「車に轢かれそうだった」

d. batu=in biri=ni üje-gde-mer<sup>17</sup> bai-n\_a.  
 PSN=GEN 妻=3POSS 見る-PASS-mer ある-NPST  
 「バトさんの奥さんが出産しそうだ」

\* e. qural ende yabu-γda-mar  
 会議 ここ 行う-PASS-mar  
 bai-n\_a/bol-u-n\_a/sana-n\_a/ayasila-n\_a.  
 ある-NPST/なる-E-NPST/思う-NPST/振る舞う NPST  
 (会議がここに行われそうである/になる/に思う/に振る舞う)

動詞接辞-mar/-mer が動詞類を修飾する際、被修飾動詞の思考動詞(20a)(思考動詞が受動、使役両方と共起している)受動、使役と共起する。様態動詞(20b)(20c) ((20b)の様態動詞は使役、相互両方と共起できる)は、使役、相互、受動と共起するのに対し、被修飾動詞の補助動詞とその他の動詞の場合(20d)(29e)(29f)は、受動、相互、使役と共起しない。

(20) a. ... tegri nura-ǰu una-mar sana-γda-γul-u-n\_a.  
 天 崩れる-CVB.PARA 落ちる-mar 思う-PASS-CAUS-E-NPST  
 「...天が落ちそうに思われる」

100 万語現代モンゴル語コーパス

b. γurban ǰang ger=i ergü-ǰü abu-mar  
 三 間 家=ACC 挙げる-CVB.PARA 取る-mar  
 debjiyere-gül-n\_e/üime-ldü-n\_e.  
 騒ぐ-CAUS-NPST/騒ぐ-REC-NPST  
 「三間屋を持ち上げそうに騒がせる/騒がせ合う」

100 万語現代モンゴル語コーパス

<sup>17</sup> この üje は本来の「見る」の意味から転義した「出産」の意味を表す。

c. nada=gi tülki-kü=dü nikege-gde-mer ügei batu  
 1=DAT 押す-VN.FOR=DAT 開ける-PASS-mer NEG しっかり  
 tögji-gde-gsen bai-ba.  
 閉じる-PASS-VN.COMP ある-PST  
 「私が押すと開けられそうもなくしっかり閉じられていた」

\* d. qalturi-ju una-mar  
 滑る-CVB.PARA 落ちる-mar  
 bai-γda-n\_a/bol-u-γda-n\_a/ge-gde-n\_e/kele-gde-n\_e.  
 ある-PASS-NPST/なる-PASS-NPST/と言う-PASS-NPST/言う-PASS-NPST  
 (滑って落ちそうではいさせる/なられる/と言われる/言われる)

\* e. qalturi-ju una-mar  
 滑る-CVB.PARA 落ちる-mar  
 bai-ldu-n\_a/bol-ldu-n\_a/ge-ldü-n\_e/kele-ldü-n\_e.  
 ある-REC-NPST/なる-REC-NPST/と言う-REC-NPST/言う-REC-NPST  
 (滑って落ちそうである/なりあう/と言い合う/言い合う)

\* f. qalturi-ju una-mar  
 滑る-CVB.PARA 落ちる-mar  
 bai-lya-n\_a/bol-γa-n\_a/ge-lge-n\_e/kele-gül-n\_e.  
 ある-CAUS-NPST/なる-CAUS-NPST/と言う-CAUS-NPST/言う-CAUS-NPST  
 (滑って落ちそうではいさせる/ならせる/と言わせる/言わせる)

動詞接辞-mar/-mer が完了を表すアスペクトと共起する例(21a)は多いのに対し、被修飾動詞が完了を表すアスペクトと共起することは少ない。被修飾動詞が補助動詞 bol-の場合(21b)、完了を表すアスペクトと共起することができるが頻度は高くない。

(21) a. ene čimege=ber hamar lodun tabtur alda-ju oryu-γad  
 この 情報=REFL PSN 端正 失う-CVB.PARA 逃げる-CVB.DISC  
 güyü-čike-mer sana-γda-ba.  
 走る-PERF-mer 思う-PASS-PST

「この情報でハマルロドンさんが落ち着かなくなり逃げ出してしまいそうに思われた」  
 mongol unsihu APP 《hamar lodun》

- b. ...könggen masin jam deger\_e yaru-mar bol-čiqa-tal\_a jabrotenei  
 軽い 自動車 道路 ~の上に 出る-mar なる-PERF-CVB.LIM PSN  
 「...軽自動車が...道路に出そうになったらジャブロテニさんが...」

100 万語現代モンゴル語コーパス

動詞接辞-mar/-mer が動詞類を修飾する際、被修飾動詞に共同ヴォイス・衆動ヴォイスあるいは瞬間アスペクトと共起する例は現時点では見当たらない。動詞接辞-mar/-mer が補助動詞 bai-を修飾する場合、相互ヴォイスと共起するが複数形の場合にだけ成立する。

動詞接辞-mar/-mer の動詞修飾用法における、動詞接辞-mar/-mer と被修飾動詞のヴォイス・アスペクトとの共起関係についての考察結果をまとめると表 5 の通りである。

表 5 動詞接辞-mar/-mer と被修飾動詞のヴォイス・アスペクトとの共起関係

		-mar/-mer	被修飾動詞			
			補助動詞	思考動詞	様態動詞	その他動詞
ヴォイス	使役	○	×	○	○	×
	相互	△	△	×	△	×
	受動	△	×	○	△	×
アスペクト	完了	○	△	×	×	×

- ○は成立、△は条件により成立できる、×は成立できない。

#### 4. 動詞接辞-mar/-mer が動詞類を修飾する際の意味的特徴

動詞接辞-mar/-mer が動詞類を修飾する際、希望・願望、自発、可能性、状態描写、誇張、比喩を表すことがある。本節では動詞接辞-mar/-mer の動詞修飾用法の意味的特徴を、動作主が 1 人称の場合にのみ成立するものと、人称制限のないものに分けて検討する。

##### 4.1. 1 人称の場合にのみ成立する意味

動詞接辞-mar/-mer が動詞類を修飾する際に、動作主が 1 人称の場合<sup>18</sup>だけ成立するのは、希望・願望と自発の意味である。

<sup>18</sup> 疑問文・条件文では、主語が 2 人称の場合にも成立することがある。小説などでは 1 人称以外の場合にも成立しうる。

## 1) 希望・願望

動詞接辞-mar/-mer が補助動詞の *bain\_a* を修飾する場合(22a)、希望・願望を表す。ただし動詞接辞-mar/-mer *bain\_a* が 1 人称の希望・願望を単純に表す(22b)ことはできない。tomu boluyad yapon du 「大きくなって日本で」などの状況語が含まれる場合にこの意味での文が成立する。動詞接辞-mar/-mer が補助動詞<sup>19</sup>に付加して思考動詞を修飾する場合(22c)にも、1 人称の願望を表す。

- (22) a. bi tomu bol-u-γad yapon=du sur-u-mar bai-n\_a.  
 1 大人 なる-E-CVB.DISC 日本=DAT 学ぶ-E-mar いる-NPST  
 「大きくなって日本で勉強したい」

山越 (2012: 133)

- \* b. bi sur-u-mar bai-n\_a.  
 1 学ぶ-E-mar いる-NPST  
 (私は学びそうです)

- c. ...jarim dayan oči-ju üje-mer sana-γda-day...  
 時に 行く-CVB.PARA 見る-mer 思う-PASS-VN.HAB  
 「…時に行ってみたいとおもわれて…」

100 万語現代モンゴル語コーパス

## 2) 自発

動詞接辞-mar/-mer が思考動詞（受動形）を修飾する場合(23a)(23b)、自発を表す。

- (23) a. ...čeber aγar amisqulla-mar sana-γda-n bos-ču γar-ba.  
 新鮮 空気 吸う-mar 思う-PASS-CVB.ASS 立つ-CVB.PARA 出る-PST  
 「…新鮮な空気を吸うと思われて立ち上がって出た」

100 万語現代モンゴル語コーパス

- b. ... 《kōriy\_e keid boy čidgür=ün törö-kü orun bol-ba uu ?》  
 寺院 悪魔 お化け=GEN 産む-VN.FOR 場所 なる-PST Q

<sup>19</sup> 補助動詞としては *üje-mer* 「見たい」の例が多い。V + *üje-mer* で「～してみたい」を表す。



ge-jü                      qasqiru-mar   sana-yda-ba.

と言う-CVB.PARA   叫ぶ-mar   思う-PASS-PST

「…寺院がお化けなどの生む場所になったかと叫びそうに思われた」

100 万語現代モンゴル語コーパス

#### 4.2. 人称制限なしに成立する意味

動詞接辞-mar/-mer が動詞類を修飾する際に、動作主の人称にかかわらず成立するのは、可能性、状態描写、誇張、比喩の意味である。

##### 1) 可能性

動詞接辞-mar/-mer が補助動詞 bai-を修飾する場合(24a)(24b)に、動作の開始または実現の見込みの可能性を表すことができる。

(24) a. bi    deilü-mer    bai-n\_a.

1    勝つ-mer    いる-NPST

「私が勝ちそうだ」

b. času   oru-mar    bain\_a.

雪    降る-mar    ある-NPST

「雪が降りそうだ」

##### 2) 状態描写

本論文は人の心理状態を表す内的状態、動作の継続状況、物事の状態を表す外的状態についての叙述を状態描写と呼ぶ。動詞接辞-mar/-mer が補助動詞を修飾する場合(25a)(25b)、その他の動詞を修飾する場合(25c)(25d)、状態描写を表す。

(25) a. ger=tü=ben              kürü-mer    bai-n\_a.

家=DAT=REFL    着く-mar    いる-NPST

「家に着きそうだ」

b. ...sal-ju                      yada-mar              bol-u-yad              ergikü    qabur=i

別れる-CVB.PARA    出来ない-mar    なる-E-CVB.DISC    次    春=ACC

küliye-kü              yüm.

待つ-VN.FOR    SFP

「別れられなくなり来年の春を待つ」

100 万語現代モンゴル語コーパス

c. tere bi üje-bel bol-u-mar ge-jü kele-be.  
 3 1 見る-CVB.COND なる-E-mar と言う-CVB.PARA 言う-NPST  
 「彼は私からみたら良さそうだとやった」

d. tere bökün=i mede-mer sig yari-ju bai-γsan da.  
 3 全て=ACC 知る-mer POST 言う-CVB.PARA いる-VN.COMP SFP  
 「彼は全てを知っていそうなように言っていた」

動詞接辞-mar/-mer が補助動詞 bai-を修飾する場合、可能性、状態描写の両方を表す場合(26)がある。

(26) boγču una-mar bai-n\_a.  
 カバン 落ちる-mar ある-NPST  
 「カバンが落ちそうだ」

動詞接辞-mar/-mer が思考動詞を修飾し、さらに補助動詞を修飾する場合(27a)、動詞接辞-mar/-mer がその他の動詞（発話動詞）を修飾し、さらに思考動詞を修飾する場合(27b)、動作主の内的状態を表すことがある。

(27) a. kedün üge kele-mer sana-γda-γsan bol-baču  
 幾つか 言葉 言う-mer 思う-PASS-VN.COMP なる-CVB.CONC  
 kele-gsen ügei.  
 言う-VN.COMP NEG  
 「何かを言うかと思ったけれども言っていない」

b. bi üje-bel bol-u-mar ge-jü bodu-γsan ču  
 1 見る-CVB.COND なる-E-mar と言う-CVB.PARA 思う-VN.COMP EMP  
 duuyara-γsan ügei.  
 声を出す-VN.COMP NEG  
 「私からみたら良さそうだったけど何も言っていない」

### 3) 誇張

動詞接辞-mar/-mer が補助動詞を修飾する場合(28a)(28b)、様態動詞を修飾する場合(28c)、その他の動詞（発話動詞）を修飾する場合(28d)、誇張を表す。

(28) a. bi delbere-mer bai-n\_a.

1 爆破する-mar いる-NPST

「私は爆発しそうだ」

b. qoyar nidü=ni oroi=bar=iyar yaru-mar bol-ba.

二つ 目=3POSS 頭頂=INS=REFL 出る-mar なる-PST

「目が頭頂から出そうになった」

c. amisqul büglere-mer tögüre-ju...

息 塞がる-mar 閉じる-CVB.PARA

「息が止まりそうに詰まって」

d. ...uutai kürü-mer yari-ju bai-γsan...

五台山 着く-mar 言う-CVB.PARA ある-VN.COMP

「…五台山に着きそうだとっていた（自慢していた）…」

100 万語現代モンゴル語コーパス

動詞接辞-mar/-mer が思考動詞を修飾する場合、一見自発(29a)と同じく自然に湧き起こる内的状態を表しているが、誇張(29b)は内的状態をもっと大げさに表現するその他の修飾節で（動詞接辞-mar/-mer が）修飾されている。

(29) a. tögüsi=gi=ni alayada-čiqa-mar sana-γda-ba.

横っ面=ACC=3POSS 叩く-PERF-mar 思う-PASS-PST

「平手打ちを食らわすと思った」

b. tögüsi=gi=ni kemke alayada-čiqa-mar sana-γda-ba.

横っ面=ACC=3POSS こなごなに 叩く-PERF-mar 思う-PASS-PST

「こなごなになるまで平手打ちを食らわすと思った」

#### 4) 比喩

動詞接辞-mar/-mer の ge-mer が補助動詞 bai-を修飾する場合(30a)、様態動詞を修飾する場合(30b)、比喩を表す。

- (30) a. ...sedgil=un ki ni qoyar keseg čoy ge-mer  
 心=GEN EMP 3POSS 二 部分 生氣 と言う-mer  
 bai-γ\_a yum.  
 ある-VN.CONT SFP

「...心の中の生氣だと言うかのようなのであるのだ」

100 万語現代モンゴル語コーパス

- b. ...ayusikin=nu qoyar sudasu ge-mer inaysi-γsan tula...  
 肺=GEN 二 血管 と言う-mer 愛しあう-VN.COMP POST

「...肺の二つの血管だと言うかのように愛しあったため...」

100 万語現代モンゴル語コーパス

動詞接辞-mar/-mer が動詞類を修飾する際の、被修飾動詞の種類、人称制限の有無、表す意味についての検討結果をまとめると表 6 の通りである。

表 6 動詞接辞-mar/-mer の動詞修飾用法における被修飾動詞の種類と意味的特徴

分類		人称・意味	1 人称のみ		人称制限なし			
			希望・願望	自発	可能性	状態描写	誇張	比喩
補助動詞	bai-		△	×	○	○	○	△
	bol-		×	×	×	○	○	×
思考動詞	qara-γda など		△	△	×	△	△	×
様態動詞	aysila-など		×	×	×	×	○	△
その他の動詞	ge-		×	×	×	○	×	×
	kele-など		×	×	×	○	○	×

- ○は成立できる、△は条件により成立できる、×は成立できない。

#### 5. まとめ

本論文では、モンゴル語の動詞接辞-mar/-mer の動詞修飾用法について考察を行い、以下のような点を明らかにした。まず、動詞接辞-mar/-mer の動詞修飾用法は統語的に副詞より

副動詞に近い特徴を示す。次に、動詞接辞-mar/-mer によって修飾される被修飾動詞には、補助動詞、思考動詞、様態動詞、その他の動詞がある。動詞接辞-mar/-mer が動詞類を修飾する際に後置詞を挿入できるか否かは、動作主と証拠性による違いが見られる。動詞接辞-mar/-mer がヴォイス接辞・アスペクト接辞と共起できるか否かは、被修飾動詞の種類により違いが見られる。例えば上述のその他の動詞は、ヴォイス接辞・アスペクト接辞と共起できない。意味的に見ると、動詞接辞-mar/-mer の動詞修飾用法で動作主が 1 人称の時だけ可能な意味は希望・願望と自発であり、動作主の人称にかかわらず現れる意味は可能性、状態描写、誇張、比喩である。つまり動詞接辞-mar/-mer の動詞修飾用法は、人称と被修飾動詞の分類により成立条件に違いが見られると言える。

- 例文の出典が書かれてないのは筆者の作例である。
- 例文中の単語訳は王（1992）を参照した。

## 略語

-: suffix boundary 接辞境界    =: clitic boundary 接語境界    \*: 非文    ??: 不自然    1: first person 1 人称    3: third person 3 人称    ABL: ablative 奪格    ACC: accusative 対格  
 ADJ: adjective 形容詞    ASS: associative 連合    AUX: auxiliary 補助動詞    CAUS: causative 使役  
 COMP: completive 完了    CONC: concessive 譲歩    COND: conditional 条件  
 CONJ: conjunction 接続詞    CONT: continuous 継続    CVB: converb 副動詞  
 DAT: dative 与位格    DISC: disconnection 分離    DUR: durative 持続  
 E: epenthesis 挿入音    EMP: emphasis 強調    FOR: forecast 予定    GEN: genitive 属格  
 HAB: habitual 習慣    IMM: immediate 即座    INS: instrumental 造格    LIM: limitative 限界  
 NEG: negative 否定    NPST: non-past 非過去    PASS: passive 受動  
 PARA: parallel 並列    PERF: perfect 完了    POSS: possessive 所有    POST: postposition 後置詞  
 PSN: person name 人名    PST: past 過去    Q: question 疑問  
 REC: reciprocal 相互    REFL: reflexive 再帰所有    SFP: sentence-final particle 終助詞  
 V: verb 動詞    VN: verbal noun 形動詞

## 参考文献

- 王海清（1992）『蒙日辞典』朋友書店。  
 小沢重男（1986）『モンゴル語四週間』大学書林。  
 小沢重男（1997）『蒙古語文語文法講義』大学書林。  
 風間伸次郎（2003）「アルタイ諸言語の 3 グループ（チュルク、モンゴル、ツングース）

及び朝鮮語、日本語の文法は本当に似ているのか 一対照文法の試み」アレキサンダー ボビン・長田俊樹（編）『日本語系統論の現在』249-340. 国際日本文化研究センター.

栗林均（1992）「モンゴル語」亀井孝・河野六郎・千野栄一（編）『言語学大辞典 第4巻 世界言語編（下-2）』501-517. 三省堂.

塩谷茂樹・中嶋善輝（2017）『大阪大学外国語学部 世界の言語シリーズ3 モンゴル語』大阪大学出版会.

ジンガン（2010）『モンゴル語のモダリティ：コーパスに基づく記述的研究』東京外国語大学博士論文.

山越康裕（2012）『詳しくわかるモンゴル語文法』白水社.

那森伯・哈斯额尔敦・斯琴・朝克图・达瓦达布格・图力更・那仁巴图（1995）《高等学校教材 现代蒙古语》内蒙古教育出版社.

清格尔泰（1991）《蒙古语语法》内蒙古出版社.

图门吉日嘎拉（2009）《全国高等学校教材 现代蒙古语》内蒙古大学出版社.

### インターネット資料

岡田和行・向井晋一（2006）[2016改訂]「東京外国語大学言語モジュール：モンゴル語文法モジュール」<http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/mn/>（最終閲覧日 2023/1/8）

mongol unsihu APP（最終閲覧日 2019/5/2）

### コーパス資料

100万語現代モンゴル語コーパス（内モンゴル大学で構築された電子コーパス）